



社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぶん第65号2015夏』

発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135

編集：おーぶん編集委員会(けいよう)/船橋市二和西5-10-1/☎047-411-

おーぶん65号

P1-2 “スプリンクラー”

がやって来た

理事長 宮代隆治

P3 権利擁護はいま

育成会事務局長

武藤健史

P4 // 餅つき行事に

招待されて

P5-6 後援会総会

P7 ふたわ会活動報告

P8 事業所夏便り

DD、のまのま

(ゆたか、のまるを兼ねて)

P9 とらのこ、けいよう

P10 さざんかキッズ

P11 カメリア、

笹川なずな工房

P12 北総育成園

P13 ランプ発

P14 //

(福) さざんか会

新たな運営体制で



“スプリンクラー” がやって来た!

さざんか会 理事長 宮代隆治

グループホームのコンセプトは、「町の中で普通の暮らしを」と心得ているのですが…。決して目立つ必要はなく、況してここに障害者が住んでいまずよ、などと知らしめる必要もなく、日本の国のどこにでもある町中の風景に溶け込むような、そんな姿が当然と思っていたのですが…。

繰り返される高齢者グループホーム火災、そこではお亡くなりになる方

も決して少ない数ではなく、高齢者に比べ少ないとはいえ障害者グループホームでの火災事故もあり、これらの結果から消防法施行令の改正が図られ、とうとうこの4月から建物の延べ床面積の広い狭いに係わらず、グループホームにはスプリンクラーを設置しなければならなくなりました。障害支援区分の1や2といった所謂障害の軽い人たち

の多数を占めるホームは除外されましたが、さざんか会が運営するホームは重い障害の方々が多く、当然それらは設置が義務付けられました。

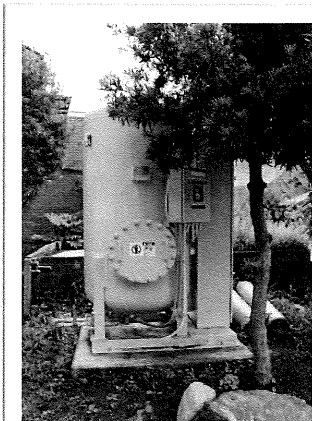
船橋市ではそこに入居している人たちの障害支援度の軽重に関係なく、とにかく可能な限りグループホームに設置の方針で、対応が図られているようです。その結果、さざんか会ではDDホームスの10か所

中5か所のホームに設置することとなりました。このうち4か所

については、所有者がご本人であったり、ご家族であったり、或いは関係者であったりと、スプリンクラーの設置について了解を頂ける方々であり、話がスムーズに運びます。

たった1軒のみ、不動産屋さんを介して借用しているホームについて、家主さんに今回の顛末についてお話をし、スプリンクラー設置についてお願いをしました。「ダメかなあ」と、正直ダメ本の思いでしたが、何とOKのお返事を頂くことができました。第三者から借り受けたホームについて、このような許可を頂けるケースは、そう多くはないと思われます。家主さんの一言が思い起こされます。「その代り、ずっ

本間ホームのスプリンクラー



と借りていて下さいね」、そりゃそ

この件に関して、全国から様々な意見が届きます。曰く、「どうしても家主さんの了解が貰えない」、「設置に要する費用が多額であり、とても工面できない」、「地元消防と協議しているが軽い障害の人たちばかりであり、設置しなくても良い筈なのに…」等。どれも切実な声であり、グループホームを構えたときにこんなことになるとは夢想だにできなかったのであり、困惑は極みの状態のようです。

いま一つの大きな課題がありません。それは、建築基準法の問題です。全国各地での障害者グループホームの用途は概ね「寄宿舎」であることが求められています。専用住宅ではダメなのです。では、グループホームにスプリンクラーを設置すれば、即寄宿舎となるのか。そう言うものでもありません。用途変更の問題は残り続けます。

設置したスプリンクラーですが、水道直結型ではなく、タンクを外部に用意して、作動時はそのタンクの

水が一気に放出されるようです。タンクの規模が並大抵ではありませ

ん。建物外部、多くはその家の庭などに配置されたのですが、普通の家にこんな巨大なタンクなど通常ある筈もなく、ご近所さんから見れば「何、あれ?」、奇異な思いを抱かれるのは当然です。勘繰れば、庭に巨大なタンクのある家は、障害者のグループホームです、と言っている様なものです。冒頭に述べたコンセプトとは、かなりかけ離れてしまいました。

人命が尊重されなければならぬのは当然です。日々の暮らしが、安心安全なものでなければならぬということも然り。唯、普通の家で普通の暮らしを、から始まった障害者グループホームに、一律スプリンクラーを設置することは、時として違和感や不協和音を覚えます。自家を含め、隣近所にスプリンクラー設備のある家など見たことない。夜間の職員配置や避難訓練の実施、隣近所も含めた防災避難対策の構築等から、そのホームホームに最も相応しい防火対策を施した方が、と思っ



困みに、この費用1か所約500万円。5か所で2500万円にもなりません。自己負担が全部で約120万円。残りは国と市の補助があります。特に、船橋市から多額の助成を受けることができました。

とても、全額を自己負担ではできません。費用の工面で苦労されている方には申し訳ないような…。

さざんか会にはまだまだスプリンクラー設置を要するホームが残っています。家主さんに設置についてご了解を頂けないホーム。老朽化が甚だしく、転居が相応しいホームなどはどう考えましょうか。

権利擁護はいま

育成会事務局長

武藤 健史

“地域で見守られて・・・ある朝の出来事”

現在娘は、カメラリアハウスに通所しています。

自宅から自転車で東武野田線M駅まで行き、近くの駐輪場に自転車を置いて、そこからバス停まで歩き、路線バスに乗ってカメラリアハウスに通っています。(雨の日は自宅の近くから駅までバスが出ているので、それを利用していきます。)

その駐輪場に、「娘が知的障害者であること」を話し、理解していただき、泥除けに「指定」と書かれたシールを張り、障害者や高齢者でも出し入れのしやすい入口付近に停めさせていただいています。(これも一つの「合理的配慮」なのかもしれません。)

そんなある朝のこと。警察から電話がありました。娘が、M駅近隣の駐輪場の前にある居酒屋の「おしぼり」を盗んだと言っています。その場に居るといっ

のですぐに駆けつけました。「まさか、うちの娘が?」と、半信半疑で向かいました。そこにいたのは、警察官2人と、紛れも無い娘の姿でした。

警察官の話では、「業者がお店から出た(使用済の)古いおしぼりと、新しいものを交換し、それを店先に置いてトラックに乗り込んだ直後、娘がその力コを持った(盗った)所を業者が目撃し、110番通報した。『新しいおしぼりが届いてない。』と、居酒屋から度々苦情が入っていて、注意していた矢先の事。『あなたがやったの?』と、いくら聞いても、帽子を目深に被り、泣きべそをかいて貝のように口を閉ざしたままだった。住所も連絡先も聞き出せなかった。店(居酒屋)の前にある駐輪場に事情を説明して連絡先を調べた。駐輪場の係の方に話しを聞き、障害があることが分かる。業者は『それなら仕方がない。』と、仕事に戻ってしまった。」と、言っていました。

私が「相手の会社(業者)に、伺ってきちんと謝罪したい。」と、言っていると、「個人保護法のこともあるので、相手に打診してから連絡先を教える。」と言って、警官は立ち去りました。しばらくして連絡が入り「娘さんが知的障害者ということがわかった。これ以上追究しない。被害届も出さない。こちらの会社名や連絡先は伝えなくてもいいです。」と、先方が言っているが、それで良いか?と、聞かれました。大事に至らなくて良かったと思ひ、咄嗟に

「それで良いです。」と、答えました。駐輪場に迷惑をかけたので立ち寄ると「お宅のようなお子さんを何人も知っているが、一番の仲良しで、そんなことをする子じゃない。」と、係員が言ってくれたのが嬉しかった。

帰りがけに「ここでおしぼりの力コを持ったんだよね?取(盗)ったんだよね?」と、娘に尋ねると「持っていない!取(盗)っていない!」と、言い始めたのです。カメラリアにおしぼりを持っていった様子も無い。駐輪場の近くにドブ川がある。捨てられている様子もないし、本人も「捨ててない。」と言っている。「現行犯だから」と、疑いもしなかったが「本当に娘がやった事なのだろうか?本当におしぼりを盗んだのは娘なのだろうか?」と、後になって疑問が湧いてきた。相手(業者)の連絡先も会社名も聞かなかった。書類すら

残っていないのだろうか?電話で担当した警官に確認すると、「娘さんがカゴを持つのを確認して、110番通報したのは間違いない。その場で『違う!』と、言ってくれば対応も違ったのだが、貝のように口を閉ざしてしまい、何も言ってくれなかった。」と、同じ事を言う。大の大人(男3人)に囲まれて「あなたがやったのか?取(盗)ったのか?」と、問い詰められれば、話せる心境では無かったろう。警官達の対応は「障害者だから仕方ない」というのは「配慮」だったのか、それとも「差別」だったのか?いすれにしてもどんな状況だったのかを確かめたくて、暫く毎朝駐輪場の前で業者が現れるのを待ったのですが、時間通りに配達されないらしくて、とうとう会えず仕舞いでした。

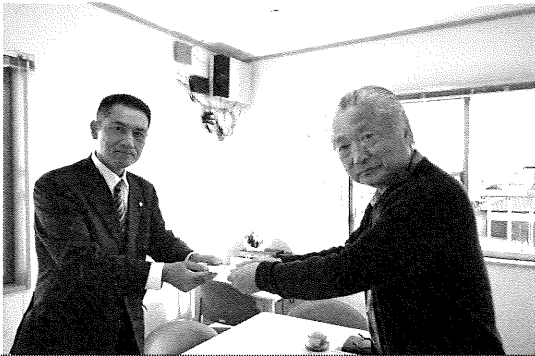
周田から「そのまままで良いのでは?」と、宥められ今に至っています。そして、娘は地域の温かい目で見守られているのだと再確認できたのは、少しでも心の救いだと思いました。



(株) 風間建設さんの

主催行事に参加して

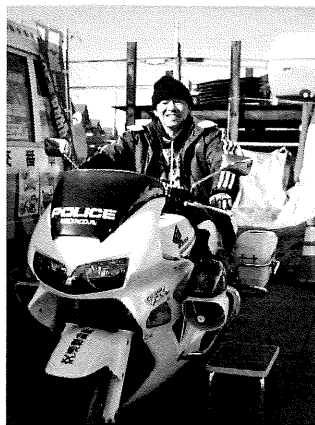
昨年12月(株)風間建設様主催の餅つき大会にDDホーム入居者が招かれ、楽しく過ごさせていただきました。また、ご厚志を賜り誌上をお借りし改めて心より感謝申し上げます。



当日の売り上げをご寄附くださいました!!



日赤の救急法を体験!!



特別参加の白バイに乗車!
これ、いいね!



当日は、つきたてお餅や本格的な焼きそばがあり、「やあ、おいしかったし楽しかったなあ」参加された皆さんから興奮した様子が伝わってきます。

「招待くださった(株)風間建設さんありがとうございます。」

たぎざんか会後援会総会

平成27年6月2日(火)開催

■第一部総代会

平成27年6月2日(火)午前10時
30分から薬田台公民館において、出席46名委任状222名のもとさざんか会後援会の総会が開催されました。

議長に、けいよう高橋正子さんが選出され、総会資料の次第に順次進み、各議案は承認されました。なお、第5号議案の会則の改正の件は、会則第5条(入会及び退会)について質疑応答があり、一部文章を変更することに、その他の会則変更についての(案)も承認されました。

その後、来賓として船橋市手をつなぐ育成会会長好村肇様、(福)さざんか会理事長宮代隆治様のご挨拶がありました。目録贈呈では、後援会の藤沢新作会長より、(福)さざんか会宮代理事長へ100万円の寄付目録が贈呈されました。

■第二部シンポジウム

「障害がある人の高齢化を支える福祉サービスの仕組みとは。」

そのあり方を考えて

宮代理事長：「平成27年度法人事業計画として、まず第一に「人材の確保」です。私たちの仕事は人がいないと成り立ちません。一人でも多くの人材を集めるため、新卒者だけを採用するのではなく、高齢でリタイアした人等、職種を越えて広く募集していこうと思っています。また、法人として大切なことは、「当事者性」と「責任性」です。「当事者性」は本人の想い、生き方、考えを正しくみとっているのか。「責任性」は、投げ出さない諦めないことであり、関わり合いを持った縁を大切に支援する側として、親が立ち上げたことをきちんと受け止め、信頼関係を築き、未来ある子どもたちをしっかり受け止め大事に育てて

いきたいと思っています。

北総育成園武井施設長：4月16日に創立40周年記念式典を行いました。4人部屋のときは、互いに助け合いコミュニケーションをとっていましたが、個室化されてから、食後は自分の部屋で自由に寛ぐことができ、落ち着いてきて昼夜逆転していたのが治ってきた反面、個室のため、孤立してしまい、仲間同士の会話が減り、言葉を発しなくなってしまう。50歳を過ぎると老化が進み、介護や医療が必要になってきますが役割と出番がある暮らしをどう用意するか、自分なりにやれることを年齢に関係なく生きがいとして作業に取り組むことは、家では見られない。施設だからこそできることだと思います。

北総育成園白樫副施設長：利用者の平均年齢は、53歳で、四分の一は60歳以上の方です。北総は医療施設ではなく、生活支援施設です。医療が発達したことにより、昔のような終の棲家ではなくなっています。病院は、ある程度治療を済ませたら在宅に戻そうとしますが、自宅に戻れないとなると、施設でここまで看取れるのか……。

施設だけでは無理なので保護者の皆様のご協力が必要であり、行政にも理解してもらいたいと思います。病院側は、施設で見ているとお話ししても病状の説明は、あくまで家族でなければ話せず、先に進むことができないと言われますが、ケースに合わせて真摯に向き合っていくかなくてはならないと思っています。また、保護者の方からお話を聞き、そこから職員が学びやりがいを持って長く勤めてくれる若い職員を育成していくため、北総に足を運んでいただきたいと思います。

けいよう泉施設長：(当日は所用で欠席。資料配布)けいようは、高齢化が進み生活意欲の低下や認知症を発症する方もおられ、介護保険を申請し、介護認定を受けている方もいます。

私たち職員は誰もがありのままにその人らしく地域で暮らし続け、自己実現できるよう支援していくものです。職場に誇りを持って全職員一丸となって業務に精励していきます。どのような状況になっても私たちは、一人の市民であり納税者である利用者さんの権利を守り共に歩む所存です。

のまる中川施設長：グループホームを利用していらっしゃる人で、65歳以上の方は2名いらっしゃいます。電車などで通うなど個性的な生活を送ることで元気に過ごされているようです。本人は何をしたいのか、気持ちはどこにあるのかを保護者や職員が決めるのではなく、誰の話をしているのか、周りの影響を受けることなく話し合いの場を設け、職業的な支援者ではなく、本人の側で意見を言える人がいるという仕組みを作っていくことが大事だと思います。また、医療に関しては緊急を要する場合、施設側が対応できないことがあるので、必ず保護者と連絡がとれるよう家族会を通して話し合っていくように思います。

なすな工房荒井施設長：去年の売り上げは2500万円ありました。千葉県でも全国的にもトップレベルだと思います。利用者は20名です。「施設の機能をはっきりさせる」ということを心掛けてきました。自分のやるべきことを理解することで利用者は変わっていくことができます。また、給料をもらうことで仕事への意欲が湧き、実績が出てきています。利用者からは、企業へ就職したいという声も上がっています。まだまだ伸びしろがあるので、これからも一生懸命やっていきたいと思っています。

ズに答えられるよう、日中活動以外でもお手伝いしていきたいと思っています。

カメラリアハウス藤敷サビ管：働くことを中心とした施設です。就労B型13名、生活介護型31名の多機能型になっているので、一緒にやっていくことの難しさがあり、空いているスペースを利用するよう工夫しています。行政からは、「工賃向上計画」があり、3年ごとに見直しています。頑張っている利用者さんのために工賃をあげていくための営業努力を行い、生活介護の皆さんには落ち着ける環境を整えていきます。(7月1日から施設長)

ゆたか福祉苑尾村副施設長：高齢化に伴い、以前のような行動ができなくなってきたので、声掛けにも気を付けながら年齢に応じた対応の仕方に変えていかなければならなくなってきました。ゆたかは今年で24年目に入りますが、階段をなるべく使わないよう、バリアフリーにするため改修計画を立てています。通所施設なので急な宿泊は難しいこともありますが、なるべくご家族の状況を把握しながら二

くらないためにどうすればいいのかという問題も残っていますが、今年度は年少さんも全員入ることになりました。

魔法のランプ山田管理者：親も高齢になり、外出困難になってきたので、外出支援を頼まれる人が多くなってきました。しかし、いま現在、契約者のうち成人の方が190名いらっしゃるので、契約している方しか受けられず、キヤンセル待ち状態になっていてサービスを受けられないこともあります。6月より移動支援の内容が変わり、通学通所支援が始まり送迎が可能になりました。人材の確保、育成に関することで、通所施設ではできないことをランプで対応していくように思います。

とらのこのキッズ齋藤施設長：さざんかキッズは、7月からスタートします。定員80名のところ、肢体不自由児施設勤務経験のある職員を確保したことで、マザーズホームより5名の方が、入られることになり、全体で75名になりました。年長さんから順番にとなる「先に生れたということ優先されるのはおかしい」という年少さんのお母様の声がありました。来年、さざんかキッズは知的障害の方が60名肢体の方が20名になるので、自宅待機児童をつ

ふたわ会

活動紹介

のまる 泉一成



さざんか会事業所横断の委員会「ふたわ会」は、平成26年度4回開かれ、その時々のお話や福祉事業に関するテーマを検討してきました。

第一回は、5月20日(火)主なテーマは、今年度の方向性、虐待が起きた場合の通告、虐待防止の取り組み。

第二回は、7月15日(火)主なテーマは、飲酒運転厳禁、業務振り返りシート、川崎市で起きているグループホームへの対応、職員が辞めない職場環境づくり。

第三回は、10月21日(火)主なテーマは、苦情とどう向き合うか、職場のメンタルヘルス、アンガーマネジメント、ヒヤリ

ハット様式。

第四回は、2月17日(火)主なテーマは、職場のKYT、各事業所ヒヤリハットの報告、職場のうつを考える。

以上4回けいようの会議室で午後5時半から90分ほど意見交換してきました。業務を終えてからということ、船橋市内の事業所に限定し、この場で何かを決めるといったのではなく、各テーマを事業所に持ち帰り、事業所で議論することが目的です。

福祉の職場だから福祉のことだけ知っていればいいのではなく、私たちは、地域の中において一人の市民であり、納税者、主権者です。業務遂行に関する知識のほかにも必要なことがあります。

左記の表は平成26年4月1日から平成27年1月末までの件数です。

(グループホーム)→	GH	けいよう	ゆたか	カメリア	のまる	とらのこ	ランブ	総計
内容	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
転倒等けが	2	34	12	1	8	5	7	69
食事関連	0	0	1	0	1	1	0	3
飛出し、無届外出	0	0	1	4	12	0	3	20
投薬ミス等服薬関連	0	9	2	0	13	5	2	31
車輛の運行中	0	1	4	0	0	0	1	6
連絡忘れ	0	1	0	0	1	5	0	7
その他	0	14	2	2	2	13	26	59
総件数	2	59	22	7	37	29	39	195

ヒヤリハットの分析からは、

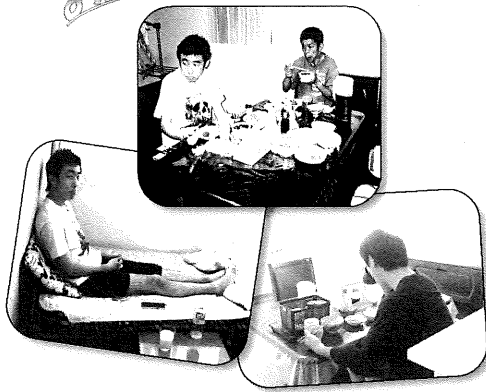
職員不足から連携がとりづらることや職員の意識改善の必要性、職員間のコミュニケーション不足など挙げられます。職員間で協働し働きやすい職場環境づくりをすすめる、安全安心から信頼される職場環境になるようさざんか会全事業所が一丸となって取り組んでいく所存です。

法令遵守、情報公開、社会貢献などいま障害福祉サービスを提供する社会福祉法人へは大変厳しい視線が注がれています。さざんか会職場全体でさらに、様々な社会問題をテーマに議論の花を咲かせてまいります。

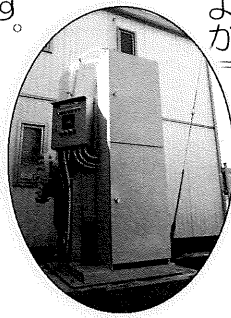
「一人の歩よりも百人の一步」をモットーに障害がある人もない人も共に暮らしやすい「ふなばし」を利用者さん、ご家族、職員共に創造していきたいと願っています。

「ふたわ会」は平成27年度も開催します。皆様からの期待に応えつつ、任の重さに押しつぶされないよう自然体で意見交換を行ってまいります。

とかよかのみなさん!



ホームに設置されたスプリンクラーの水槽です。



★DDホームズでは、冒頭の理事長から解説の通り、既存のホームのスプリンクラーの設置を進めております。
写真は、船橋法典駅近隣にある『よかよか』

のまのまホームズ

★のまのまホームズでは、五月にのまのま初の最初からグループホーム用に建てられた新ホーム『ときわ』が馬込沢駅近くにオープンしました。

スーパーやバス停が目の前にあるので、いつでもお出かけや買い物ができる好立地。広い玄関



や脱衣場、対面式の台所など利用者さんが生活しやすい用に考えられた工夫がたくさんあります。それだけ入居者

『ときわ』の生活にあつというされたみなさんは、

間に馴染まれていらっしまし
た!

世話人
櫻井唯史



読者感想コーナー

★ある日、突然やってきてしまった子どもの病気・怪我・入院生活、すでに経験のある方もいらっしやることでしょうか。

64号「権利擁護はいま…」

御嬢さんの病気の発症とご両親で付添介護をされた経験談を拝読させて頂き、安藤氏の不安と苦悩・願いがひしひしと伝わってきました。我が息子も三度の入院を経験し、点滴治療は、欠かせませんでした。

友人も息子さんとの入院時には、気丈に振る舞う姿と別に心身共に疲れている様子・不安・悲しみ・回復への望みが伝わってきて子を想う親の気持ちに変わりは、ありません。

安藤氏と共に患者の気持ちや痛みに寄り添う医療の提案について、親たちをサポートする体制づくりに声を上げていきたいと思っております。

のまる利用者家族 林恵美子

★毎号『おーぶん』を拝読させていただいております。

64号では、待機児童の問題

で斎藤施設長から単に受け皿を増やせばいいとは言えない、特性にあった質と量を…とのお話を伺い、保護者の方のお子様の進路についての不安や苦悩は、計り知れないと感じました。

一人ひとりが輝ける社会、将来そういう社会に実現する事を私も願っております。

育成会の安藤様のお話しは、お子様の入院時のご経験から、障がいのある方の声なき声を皆様にお知らせし理解を深めていただきたい。多くの医療関係者にもこの声が、届く事を期待しているとの事、改めてご家族の切なる気持ちが伝わりました。

昨年のもるでのご利用者の方々の入退院の出来事が脳裏をよぎりました。声なき声は、伝わっていたのだろうか。

業務上、ご利用者の方々と直接関わることは、あまりございませんが、毎日、お元気に笑顔で過ごされる姿を見続けられる事を願っております。

のまる事務職員 清水淳子

やらのこキッズ

・・新人職員紹介・・

①出身は？ ②尊敬する人は？

おーぶん65号P9



和久本 香先生
①千葉県千葉市
②田舎のおばあちゃん



多賀 友紀子先生
①千葉県
②大学時代お世話になった
臨床心理士の先生



坂口 水紀先生
①千葉県
②母



南 香織先生
①大阪府
②浅田真央さん



小倉 瑞穂先生
①千葉県
②大学時代の先生



小林 佳恵先生
①東庄町
②とらのこキッズの
先生方



櫛田 典子先生
①千葉県
②フジコヘミング



高橋 由果先生
①千葉県
②専門学校時代の先生



8人の新人さんを加え、今年度もみんなで力を合わせて園を盛り上げていきたいと思ひます(*^_^*)宜しくお願いします!!

けいようひ

新年度を迎えて三ヶ月が経ちました。けいようひ今年度は新人職員がいませんので、ここ三ヶ月の出来事をお知らせしようと思ひます。

四月は、お花見に行きました。今年の会場は船橋市運動公園。桜は満開でまさに見頃、見物客も沢山いました。満開の桜の下にシートを敷いて、皆さんおやつを片手に雰囲気を楽しまれました。

六月からは電車活動がスタートしています。3、4名の小グループに分かれ、電車等を利用して各グループ好きな所へお出掛けします。柏や幕張、千葉等行き先は様々で、なかには越谷レイクタウンまで行ったグループも！各地でお昼ご飯を食べ、街を散策して帰ってきています。皆さんとても楽しみにされている活動です。今年度は、あと何回行けるのでしょうか？

そして今年もけいようひでは畑で野菜作りをしています。毎年恒例の夏野菜を始め、今年新たにチャレンジする野菜もあります。利用者さんは、毎日水やりと草取りで大変。でも今から収穫が楽しみです！

これから本格的な夏に向かい、外出行事やプール活動等これまた楽しみがどんどんやって来ます。体調に気を付けながら楽しく元気良く夏を乗り切りたいと思ひます。



今年初採れの野菜たちです！

さざんかキッズ

～ 新人職員自己紹介 ～

新人十三名、他事業所より多くの新人職員に囲まれ、四月より

「さざんか学園」を船橋市より借用しスタートしました。色々な職種を経験してきた気持ちはフレッシュな新人職員と、毎日良い刺激をもらいながら日々過ごしています。七月オープンに向け名前も新たに「さざんかキッズ」になりますが、支援の輪を広げていきたいと思えます。

① 氏名 ② 出身 ③ 尊敬する人

- ① 大森 さやか
- ② 千葉県山武市
- ③ 祖母

- ① 柳澤 千晶
- ② 長野市千曲市
- ③ 宮沢賢治

- ① 丸山 恵
- ② 神奈川県川崎市
- ③ 長嶋茂雄

- ① 近藤 美樹
- ② 千葉県市川市
- ③ 沖田総司

- ① 高橋 順子
- ② 千葉県船橋市
- ③ 特にいない

- ① 中村 絵里子
- ② 千葉県松戸市
- ③ 姉

- ① 辻 亜央伊
- ② 千葉県市川市
- ③ 三浦知良「キングカズ」

- ① 秋吉 美佳
- ② 千葉県船橋市
- ③ 母

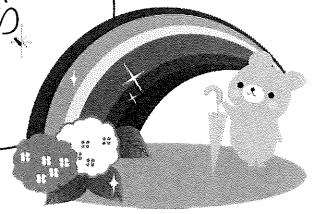
- ① 遠山 景子
- ② 千葉県松戸市
- ③ 父・母・人を思いやり、人に優しく出来る人

- ① 木村 優子
- ② 静岡県御殿場市
- ③ 素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言える人

- ① 太田 祐梨子
- ② 静岡県浜松市
- ③ 父、母

- ① 内田 由起子
- ② 東京都新宿区
- ③ 仕事がつらくてもやめずに定年までつとめあげた全ての人

- ① 白井友美
- ② 東京都大島町(伊豆大島)
- ③ 母



カメラアハウス 春の便り

新年度が始まって早3ヶ月。カメラアハウスでは2名の新しい利用者さんと、1名の新任職員・非常勤を迎えました。

利用者さんは総勢44名になり、賑やかになって参りました。支援職員は常勤・非常勤を合わせて総勢15名。少数精鋭をモットーに日々の業務にあたらせて頂いております(笑)

利用者さんが増えたことで問題になるのが、送迎車。各グループの利用者さんが増えたので、定員ギリギリ!ときには定員オーバーで車が出せない!なんてことも。活動の形態にも工夫が必要になって参りました。

○春の恒例行事!

今年の春は、年度明けから下請け作業が忙しく、恒例のお花見に時期が間に合わず、4月末に「遠足」という形で実施しました。

それでも皆さんにとっては花より団子。アンデルセン公園でお弁当やお菓子を食べて楽しみました♪

おーぶん65号P11



☆新任職員紹介☆



大山 正美 (おおやま まさみ)

出身地:北海道、尊敬する人:持になし!
特別支援学校の元教員で、カメラアハウスにも教え子がたくさんいらっしゃいます。宜しくお願い致します!!

「笹川なずな工房」入職について

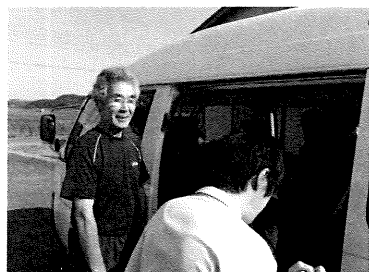
笹川なずな工房 青田 貞利

私は、本年4月に「笹川なずな工房」に入職しました。

昨年末に鉄鋼会社を退職し、その間四十五年間にわたり、製鉄所構内で働く人々の安全・健康・怪我や病気もなく幸せな(家族)生活を守ることを推進する業務を担当して参りました。

「笹川なずな工房」に入職して第一に感じた事は、まず、私自身、福祉については、TV・新聞・雑誌等でしか理解していませんでした。しかし、今回初めて福祉の実社会を知り、今日に至っています。「笹川なずな工房」では、利用者自身が社会的に健康で就業するため、統一した支援のもと、各スタッフの支援がなされている事で私は、利用者が快適で安全な業務が遂行できるよう、お手伝いすることと考えています。

利用者個々が、ここ「笹川なずな工房」で業務を遂行して、本当に幸せであったことを感じてもらえるようこれから、私も勉強してして利用者と共に頑張っていきたいと思えます。





北総育成園平成27年度新職員 どうぞよろしくお願ひいたします。

創立41年目の北総の里で「働くこと生きること」の毎日に汗を流してくれています。今は教わることの多い毎日から、少しずつ自分らしくよりよい支援ができるようになることが目標です。保護者をはじめ皆様からの温かい励ましをお願ひいたします！

後列	左から	伊藤崇（旭市）	新館火山寮・ありのまま工芸班
		鵜野翔吾（東庄町）	本館ふてんま寮・林産班
		西谷悠香（東庄町）	新館林寮・手芸介護班
		宮内朋也（銚子市）	館内掃除パート
		笹川なずな工房	荒井施設長
		龍孝行（福岡県）	新館風寮・農耕班
前列	左から	五味洵礼乃（旭市）	新館のぎく寮・陶芸班
		渡辺洋介（千葉市）	本館椎の木東寮・紙工芸班
		武井園長	
		平塚恵理（神栖市）	新館あざみ寮・手芸介護班
		高橋千夏（東庄町）	新館たんぽぽ寮・紙工芸班
		谷川亜矢（神栖市）	本館椎の木西寮・林産班
		福田克三村長	

ランプ発



魔法のランプ相談支援…高嶋伸吾

夏が好きです。特にこれから夏が来る初夏の季節・何かが始まる感じのワクワク感が一年の中で一番好きです。しかし残念ながら今年は初夏を満喫することなくあつという間に気温が急上昇、そのあと遅れた形で梅雨がやってきました。雨は好きですが梅雨は嫌いです。気温の割にじんわり暑い、と思っただけに寒くなったり「もう一枚着ていった方がいいかしら?」「今日は傘持ってた方がいいかな?」「ああ!もうカビが生えてるう!」・等々。とかくネガティブな印象しかないこの時期やっぱり好きになれない

な・・・とここで思い出しました。丁度一年前の梅雨の時期、私がケースを受け持っている方の付き添いで市役所の障害福祉課までしとすと雨降りの中二人で傘をさして並んで京成船橋の駅から市役所までの距離を歩いていました。すると途中で急に土砂降り!ちょっと歩けないくらいの豪雨?に見舞われて近くにあった軒下でしばし雨宿りしました。以下その時のやりとり・・・ご本人「いくのやめて、もう帰ろうか?」私「担当の人と約束していますしもうすぐ止むよ・・・多分ご本人「今日は何しに行くんだっけ?」私「手帳の更新の手続きです。ないと困るでしょう?」

ご本人「・・・あんまり使わないしいいよ。それよりせっかくお仕事休んだしカラオケ行こうよ」私「いやいや(笑)こういう手続きとか書類とか大事ですよ?しないと生活するのに困るよ?」ご本人「そうかなあ?今日も朝ごはんは自分でパン焼いたし。色々大丈夫だよ」などと話しているうちに辛か不幸か雨はすっかり小降りになり、ちょっと遅刻して市役所に向かいました。

「色々大丈夫だよ」そう言われて気が付きました。相談支援の業務についてからサービス利用計画書、モニタリング報告書、各種申請書等々・・・書類作成して印鑑もらって市に提出して、忙しいけどそれですっかり仕事した気になっっていました。でも福祉サービスがなくても「色々大丈夫」と言った彼のニーズをしつかり汲み取れていたのだろうか?書類を提出してからが本番だったのにそれで一件落着いた気分になっ

雨降りの中ご本人さんと一緒にてくてく歩いたおかげでまた一つ教えられたような気がしました。さて、さざんか会をご利用の方及びご家族の皆様には昨年より引き続き当事業所にご連絡いただきまして、その都度お時間をいただいたり各事業所への連絡をお願いしたりお手数おかけしております。

ほとんどの方が市役所から書類が送られてきてよくわからないから市役所に聞いたなら「表の中にある事業所に電話しては?」と言われて名前を聞いたことのある魔法のランプに連絡しましたという感じでした。せっかくお電話いただいたのに申し訳ありませんでした。



そもそも相談支援ってなんなのか？改めてご説明させてもらいます。相談支援の中にはいくつか種類がありますがここでは皆さんにとって一番話題になりやすい「計画相談」についてご説明します。「障害者総合支援法では、平成24年より障害者の方に対する「計画相談」がスタートしました。平成27年3月までに福祉サービス等を利用するすべての障害者の方は、「サービス等利用計画」の作成を受け、ご本人が望む生活に向けてのケアマネジメントが行われます。」ということですが、つまり今まで使っていた福祉サービスをもう一度見直して今の生活に適したサービスの利用が行えているかを確認したうえで新たに課題を発見・改善しましょうということですね。それを確認するうえでご本人の生活を組み立てていく企画書が「サービス利用計画書」ということになります。

しかし、せっかくの企画書も作ったままでは機能しません。

それと合わせて課題に対してどのように取り組み、結果どのような現状にたどり着いたのかを定期的に確認することが「モニタリング」と呼ばれるものです。うまくいったこと・うまくいかなかったことを客観的に捉えてさらに必要であれば企画書である「サービス利用計画書」を作り変えていきます。

それらをご本人・ご家族の意図を十分汲み取り書類として形にし、今後の生活に生かしていくことが私達、相談支援専門員の役割です。

煩雑な手続きが増えそうであり良い印象のない方もいらっしゃるかも知れませんが、あくまでも福祉サービスを利用している方・これから福祉サービスを利用したいと思っっている方が今後スムーズに生活していけるためのものです。

さざんか会の事業所をご利用中で相談支援の書類が、市役所から送られてきた方は現在利用中の事業所の職員までご連絡下さい。宜しくお願致します。

(福) さざんか会

7月1日から新体制

社会福祉法人さざんか会本部は、7月1日から船橋市行田2-8-1に移転しています。

また、新たに同地で児童発達支援センター「さざんかキッズ」の運営を開始し、管理者も一新して新たな体制で事業運営を行っています。管理者は左記のとおり。

さざんかキッズ

齋藤 幸子

とらのこキッズ

中川 公二

けいよう

古川世志恵

ゆたか福祉苑

尾村 勉

カメリアハウス

藤敷 正英

のまる

泉 一成



グループホーム事業所
DDホームズ

宮代 隆治

のまのまホームズ

中川 公二

魔法のランプ

居宅

山田 朝広

相談支援

中川 公二

今回の管理者異動は、船橋市内の事業所に限らせていただいています。

障害があるなしに関わらず誰もがその人らしく地域で暮らし続けられ、自己実現できるように職員全員で励んでまいります。ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。